

令和7年度

国立天文台周辺地域土地利用整備計画

検討委員会の意見のまとめ

令和8年3月



1 検討委員会の概要

国立天文台周辺地域土地利用整備計画の策定に向け、ワークショップ(WS)を通して、地域の共有地「おおさわcommons」のコンセプトや機能配置について検討が行われました。

テーマ:地域の共有地「おおさわcommons」の在り方、使い方
～地域の人が集まり、利用しやすい共有地にするために～

WS 1

みんなが集う
地域の共有地
「commons」
ってどんなところ？



WS 2

地域の共有地となる
地域交流スペースや
機能
ってどんなのだろう



WS 3

WS1・WS2の意見を
踏まえた
配置案へのご意見
(ゾーニング)



主な機能

①天文台の「森の学校」

③天文台の森(北側)の次世代への継承

②みんなが集う地域の共有地

④命と暮らしを守る防災拠点

エリア方針

第七中エリア

- ・既存の校舎等を活用するエリアです。
- ・施設づくりエリアと一体となった教育環境を整備します。

一体的利用

施設づくりエリア

- ・「おおさわ commons」の施設をつくるエリアです。
- ・健全な大径木を可能な限り保全します。
- ・周囲に植樹し、自然と調和した施設配置を行います。
- ・第七中エリアと一体となった教育環境を整備します。

一体的利用

緑地保全エリア

- ・まとまった緑を保全するエリアです。
- ・森の中を通る通路を整備します。
- ・国立天文台と管理方法等を協議します。

※緑地保全エリアの保全方策は、国立天文台との協議中です。

全体イメージ

おおさわ commons



3 第2回検討委員会のまとめ『みんなが集う地域の共有地「commons」』

WS 1

みんなが集う地域の共有地「commons」ってどんなところ？

みんなが集う地域の共有地「commons」で目指したいイメージとして、大きく以下の8つの考え方が出されました。

目指したい
イメージ1

地域の人々で交流できる場を持ち、多世代が多様に関われる

目指したい
イメージ2

多様な子どもの居場所とし、安全で安心してのびのび過ごせる

目指したい
イメージ3

豊かな自然を手入れし、春夏秋冬を感じられる体験の場へ育てる

目指したい
イメージ4

開発段階から住民が参加し、場を使うことで、地元愛を育む

目指したい
イメージ5

日常的な防災拠点で地域がつながり、災害時にも対応できる

目指したい
イメージ6

医療福祉、行政サービス、相談窓口等で高齢者も子育ても安心できる

目指したい
イメージ7

天文台を活かした異文化交流・国際交流ができる

目指したい
イメージ8

屋内外のイベントやスポーツ等多様な地域利用が柔軟にできる

4 第3回検討委員会のまとめ『地域の共有地となる地域交流スペースや機能』

WS 2

地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう

エリア・ゾーン		第3回検討委員会の意見のまとめ
施設づくしエリア(第七中エリアと一体的に検討)	普通教室	普通教室数、児童・生徒数の変動にも対応できるように検討する。また、一体的なオープンスペース等も検討する。一体的な学校づくりとするために、渡り廊下など 第七中と新校舎との接続 も検討する。
	特別教室	授業で使っていない時間に、 地域活動や中高生の学習スペース など多様な 地域利用 がしやすいよう、特別教室は1階配置を原則に、児童・生徒と交わらないよう ICT技術等で空間を分離 する。また、特別教室や体育館等を地域開放する場合は、原則 登録者のみに限定 するとともに、 管理人の配置も含め 、セキュリティ対策を検討する。
	管理諸室	職員室は 全教職員が集まれる ようにしつつ、地域開放を担う 管理人との連携 を図りやすい位置への配置を検討する。
	体育館・プール・学校図書館	新しい学校施設の整備を核に、 第七中の既存施設の改修・活用 も含め一体的に検討する。また、 学校図書館と地域図書館の連携 を前提とした整備を検討する。なお、 体育館・プールは地域開放 を検討する。
	図書館等	『 滞在交流型の図書館 』を中心に、カフェや談話スペース、学習スペース、未就学児スペース、作品展示スペース、シェアスポット、掲示板など 多世代の地域交流スペースの併設 を検討する。地域図書館等の一般利用者が児童・生徒と施設内で交わらないよう、 学校ゾーンとの空間分離 を検討するとともに、屋外もフェンスや植栽で仕切るなど、校内に 一般利用者が入りにくい設え を工夫する。
	グラウンド・広場	グラウンドとして必要な面積・機能及び保存すべき樹木の維持を前提に、グラウンドや広場では学校行事や地域の催事、地域開放時に使用できる 屋外ステージ を検討する。
	コモンズ駐車場	必要最低限の駐車場 とし、日常的な 駐車場の出入り口を天文台通りに限定 できるか検討する。
緑地保全エリア	里山ゾーン	子どもとともに里山をつくり 、学校と地域で育てる 学校農園 も検討する。また、多様な地域利用が可能な 広場も確保 しながら、 防災やモノづくり 等に日常から触れられる場づくりを検討する。
	散策・観察ゾーン	見通しのきく明るい地域の散歩コース として整備を行い、 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース (例えば、リースペース・チャレンジジョップ・地域運営の売店・カフェ)などの配置を検討するとともに、沿道にて 生き物や植栽等を観察 できるよう、検討する。地域開放内の遅い時間でも安全に歩けるよう、 夜間照明の設置 に加え、 夜間時の防犯対策 を検討する。
	現状維持ゾーン	※現在の自然環境を保つ区域として、一般の立ち入りは想定しないゾーンであるため、検討しない。

4 第3回検討委員会のまとめ『地域の共有地となる地域交流スペースや機能』

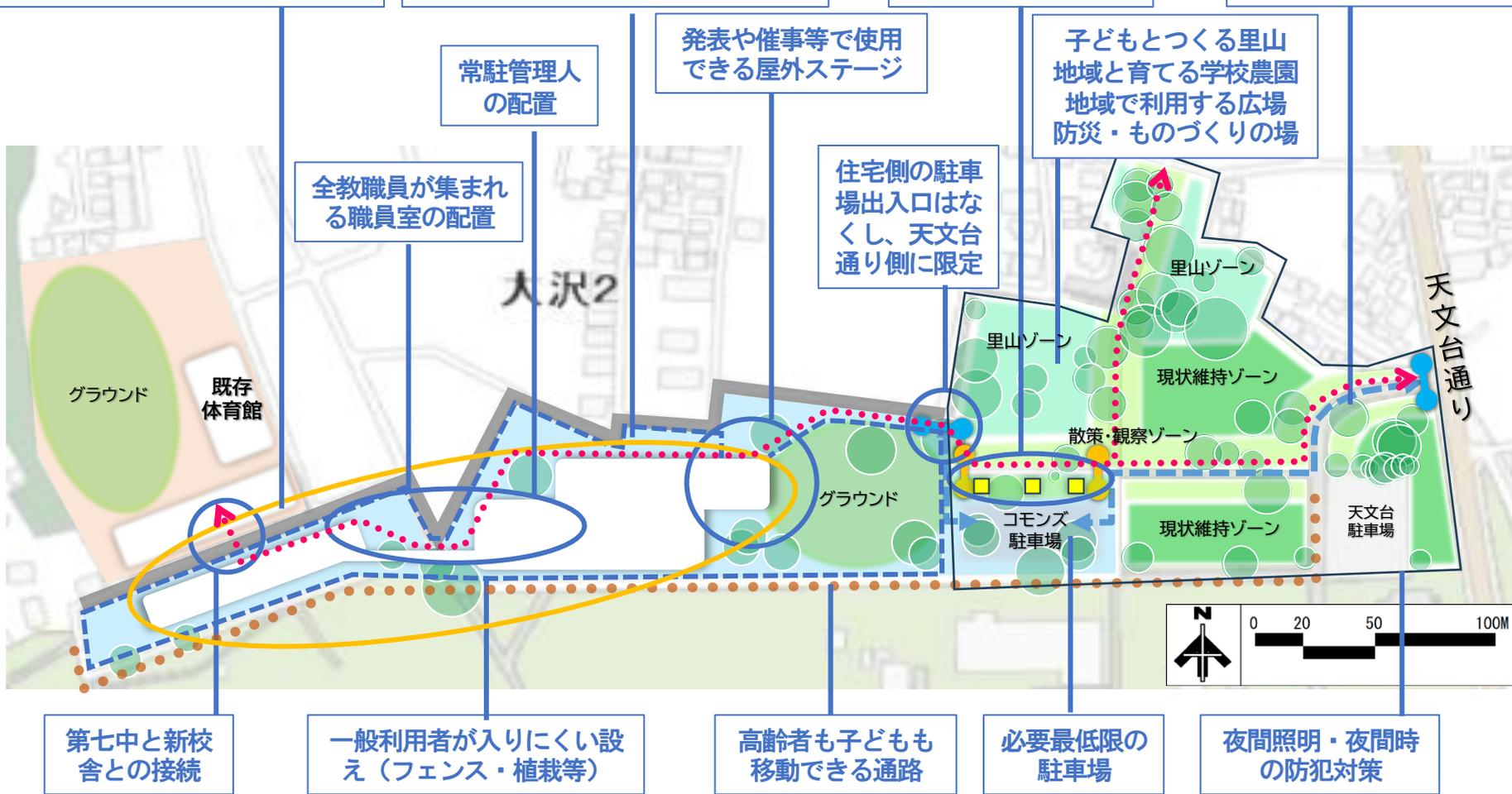
各エリア・ゾーンへの意見を図にまとめました。

特別教室は授業で使っていない時間を中高生の学習スペースや多様な地域利用できるよう、1階に配置し、ICT技術等で空間を分離。利用者は登録者のみに限定。

『滞在交流型の図書館』を中心に、多世代の地域交流スペース（カフェ・自習・未就学児・作品展示等）を併設し、学校ゾーンとは空間分離

地域で利用できる小さなスペース（売店・カフェ・チャレンジショップ・フリースペース）

生き物や植物などを観察できる散歩コースとして、見通しよく明るく整備し、読書スペースやベンチなどを配置



5 第4回検討委員会のまとめ『配置案へのご意見』

WS3

WS1・WS2の意見を踏まえた配置案へのご意見(ゾーニング)

第4回の検討委員会では、地域交流の場の核となる地域図書館の配置パターンを軸に、これまでのWSを踏まえ、事務局が用意した意見交換用の3つの配置案に対し、地域の共有地としての課題・懸念点などの意見交換が行われました。

イメージA

地域図書館東側配置



イメージB

地域図書館中央配置



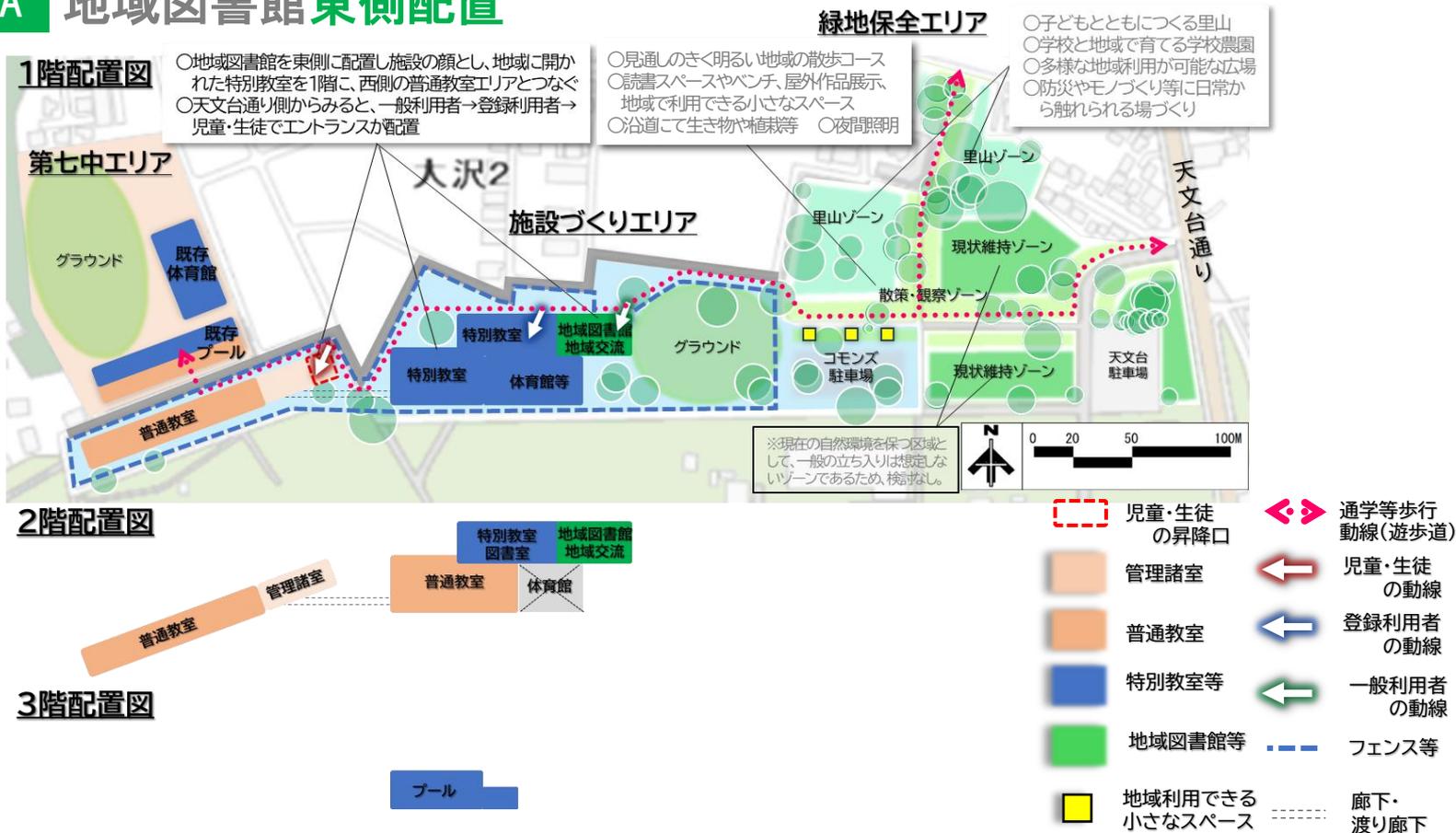
イメージC

地域図書館西側配置



5 第4回検討委員会のまとめ『配置案へのご意見』

イメージA 地域図書館東側配置



第七中と新校舎(普通教室)との関係	第七中と普通教室が近く、交流しやすそう。
グラウンドと新校舎(普通教室)との関係	西側(1、2階)の普通教室が新グラウンドまで遠い。※ただし、七中グラウンドの利用も想定すれば、支障はない。
地域利用との関係	地域図書館が天文台通り側に位置し、緑地保全エリアとの連携が図られるとともに、駐車場が近く車いすの方なども利用しやすそう。
セキュリティとの関係	セキュリティが高そうであるが、地域動線との重なり等、課題は残る。

5 第4回検討委員会のまとめ『配置案へのご意見』

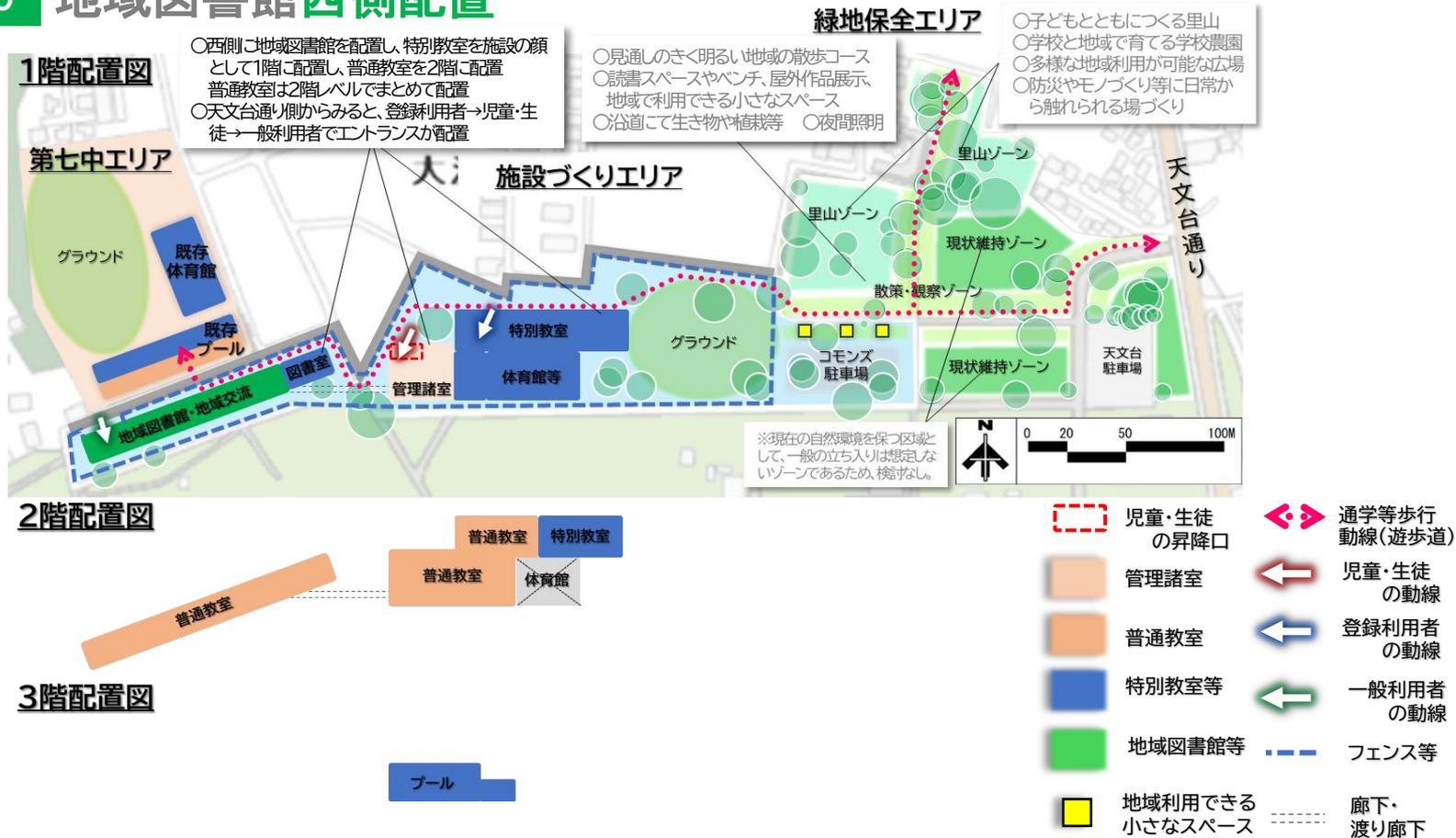
イメージB 地域図書館中央配置



第七中と新校舎(普通教室)との関係	第七中と普通教室が遠く、交流しにくい。※ただし、小・中学生で距離を置く計画であれば、支障はない。
グラウンドと新校舎(普通教室)との関係	普通教室が新グラウンドに近い。※ただし、新校舎に中学生も混在する場合、グラウンド利用が課題
地域利用との関係	地域図書館が天文台通り側に位置し、緑地保全エリアや駐車場にも比較的近いことから、連携がしやすそう。
セキュリティとの関係	セキュリティが煩雑になりそうだが、2階普通教室はよい。

5 第4回検討委員会のまとめ『配置案へのご意見』

イメージC 地域図書館西側配置



第七中と新校舎(普通教室)との関係	第七中と普通教室が概ね近く、交流しやすそう。※ただし、小・中学生で距離を置く計画であれば、支障はない。
グラウンドと新校舎(普通教室)との関係	西側(2階)の普通教室が新グラウンドまで遠い。※ただし、七中グラウンドの利用も想定すれば、支障はない。
地域利用との関係	地域図書館が天文台通り・緑地保全エリア・駐車場から遠い。
セキュリティとの関係	セキュリティが高そうであるが、地域動線との重なり等、課題は残る。

5 第4回検討委員会のまとめ『配置案へのご意見』

◎3案の中で最もよい、○比較的よい、
△3案の中で最も課題がある

地域図書館 配置別	イメージA 東側	イメージB 中央	イメージC 西側
第七中と新校舎(普通教室)との関係	◎第七中と普通教室が近く、交流しやすそう。	△第七中と普通教室が遠く、交流しにくい。 ※ただし、小・中学生で距離を置く計画であれば、支障はない。(◎)	○第七中と普通教室が概ね近く、交流しやすそう。 ※ただし、小・中学生で距離を置く計画であれば、支障はない。(◎)
グラウンドと新校舎(普通教室)との関係	△西側(1、2階)の普通教室が新グラウンドまで遠い。 ※ただし、七中グラウンドの利用も想定すれば、支障はない。(◎)	◎普通教室が新グラウンドに近い。 ※ただし、新校舎に中学生も混在する場合、グラウンド利用が課題(△)	○西側(2階)の普通教室が新グラウンドまで遠い。 ※ただし、七中グラウンドの利用も想定すれば、支障はない。(◎)
地域利用との関係	◎地域図書館が天文台通り側に位置し、緑地保全エリアとの連携が図られるとともに、駐車場が近く車いすの方なども利用しやすそう。	○地域図書館が天文台通り側に位置し、緑地保全エリアや駐車場にも比較的近いことから、連携がしやすそう。	△地域図書館が天文台通り・緑地保全エリア・駐車場から遠い。
セキュリティとの関係	△～○セキュリティが高そうであるが、地域動線との重なり等、課題は残る。	△～○セキュリティが煩雑になりそうだが、2階普通教室はよい。	△～○セキュリティが高そうであるが、地域動線との重なり等、課題は残る。

地域利用との関係については、イメージAの考え方がよいものの、義務教育学校の学年の配置により校舎やグラウンドの配置の考え方が変わるため、今後整理が必要です。

第4回検討委員会での配置の考え方のまとめ

【第七中と新校舎との関係】

- 普通教室は、義務教育学校として各学年をどのように配置し、どのように交流を促すかにより、第七中との関係性が変わるため、継続した検討が必要
(小・中学生で敷地を分けるか、混在させるかで学校の在り方も変わる。)
- 子どもたちの安全性確保のため、新校舎と第七中をつなぐ渡り廊下が必要
- 特別教室は1階に配置し、子ども・地域の利用が感じられるようにする。

【グラウンドと新校舎との関係】

- グラウンドは第七中側と新校舎側の2つの利用を前提に、グラウンドとの距離に配慮した位置に普通教室を配置

【地域利用との関係】

- 地域図書館は、学校生活を最優先に、多様な方の利用を想定するとともに、緑を活かした空間となるよう敷地東側に配置
- 一般利用を想定したプールを配置し、暑さ対策として屋内化も検討

【セキュリティとの関係】

- 1階は地域も利用する機能(地域図書館、特別教室等)を配置し、2階以上に普通教室を配置することで、階層的なセキュリティラインを設定
- 学校の地域開放については、子どもが使用していない時間帯等、時間により子どもと地域のセキュリティラインを分ける。



検討委員会の感想

- 充実した話合いが持てた。
- 子どもたちの立場を深く取り入れた検討になった。
- 小学校の保護者からは、今すぐにでも新しい学校で学ばせたいとの意見も多く、期待されている計画であることを認識しながら参加した。
- 協力的な人、反対派の人、様々いたが、皆さんが三鷹、大沢地域に対しての強い想いがあることがうかがえた。
- これからも子どもたちが直面する問題に向き合う地域でありたい。
- 子どもたちが必要としているもの(事)を感じ取り、未来へつながっていけるよう、みんなで考えつづけていきたい。
- 今まで検討してきたことが徐々に形になってきているのだと実感した。

- 実現に向け、引き続き協力していきたい。
- 地域の方々の地元愛を感じた。
- 不安もあったが、委員同士協力して、とても有意義な会となった。
- 自由に意見を伝えられた。今回の検討結果が無駄にならないようお願いしたい。
- この計画の実現により大沢の住民が増え、流出が減少できたらうれしい。
- 限られた回数の中で、かなりの論点が整理された。
- 大沢を面で捉えて、大沢全体の話がしたかった。
- 検討に出席して地域のつながりを感じた。
- もっと若い世代の参加もほしかった。
- まちづくりについて考える良い機会になった。

計画に関する意見①

■全般

- 小・中学校を中心に優先順位を決めて整理してもらいたい。
- 学校3部制の導入はできることから進めてもらいたい。
- 単学級が見込まれることから、羽沢小と大沢台小の移転は優先順位を高くした方がよい。
- 壮大な案になったが、実現可能なものにまとめてもらいたい。
- 人口減少社会のなかでのまちづくりのモデルケースになってほしい。
- 防災対策を図りながら、施設の移転などは社会情勢をみて慎重に検討してもらいたい。
- 緊急度の高さも考慮してスケジュールを検討してほしい。
- 時代変化に伴って変更・見直しをしてほしい。
- 妥協せずより良いものを建ててほしい。
- 本質的な部分を見失わずに検討を進めてほしい。
- コミュニティ・センターの移転について、今後の検討の中でぜひ課題として入れることを期待したい。
- 計画の延期は残念
- 早期の実現を期待したい。
- 天文台の中にある学校は他にないので、ぜひ実現したい。
- 規模を小さくして不便になるなら時間がかかっても最初からきちんと整備をする方がよい。
- 細長い土地の形状から様々盛り込むのは大変難しい。
- 近隣のプライバシーへ配慮してほしい。



計画に関する意見②

■学校施設・教育

- 普通教室とグラウンドが近い方が良い。
- 可変性のある施設を設計してほしい。
- 新グラウンドについてはマウンド、照明が必要
- 屋内プール化
- 一等三角点を教材として利用してほしい。
- カフェなど追加要素は精査し、学校は素晴らしいものとしてほしい。
- 第七中エリアとの連結を工夫してほしい。
- プールは民間委託するなど必要性を考える。

■図書館等地域交流スペース

- 地域図書館が地域の中の憩いの場、情報提供の場となるとともに、学校教育との連携を見据えたラーニングコモンズになってほしい。
- おおさわコモンズが地域のにぎわいの場として、子どもから大人まで楽しみ学べる場所になってほしい。

■みどりの保全

- 保全エリアはゆっくり整備してもよいのでは。
- 新しい自然との共存例として今回の土地利用がされることを望む。

■防災・防犯

- 羽沢小の子どもたちの安全安心な学校環境の構築は優先順位上位で検討してもらいたい。
- 市民の生命(安全)を優先した部分整備(造成)を先行事業とすることも考えられるのではないか。
- 大沢コミュニティ・センターを水害時にも利用できる避難所施設へ改修する検討をお願いしたい。
- 風水害時の避難をどう検討していくのか。
- 羽沢小の児童、周辺市民の水害時の避難などが心配
- 子どもだけでなく、利用者の安全が一番に考えてほしい。

■交通・通学

- 天文台通りは自転車と歩行者の接触など非常に危なく、遠くなる通学を考えると羽沢小あたりからトラム(自動運転路面電車)などあってもよいのではと思う。
- 七中(周辺)の道は暗いので、天文台の中を通れたらよいと思う。